

いちご栽培管理 (R7.2.)

(有) 丸 富

1月は朝晩の冷え込みは厳しいものの、降水量が少なかった。アブラムシ、ダニなど害虫の発生が多かった。株冷などが二番花房の出蕾が遅かったため、収穫がかなり遅くなり、しばらく収穫の端境期が生じた。

不受精果対策

新月頃は栄養生長するので、蜂の働きが悪くなる時がある。早めに電照時間を短め、花粉を強くする。花粉の強化に**バイオシャインシルバー(時を越えた贈り物、オリゴファイト)1,000～2,000倍**と**サンミネーラ 5,000倍**を葉面散布する。

害虫対策

近日点では害虫の発生が多くなるので、注意して観察を行う。害虫対策として、防除前に**バイオアクトTS 50～100 cc/10a**を灌水する。

害虫の繁殖抑制に**バイオアクトTS 2,000～3,000倍**を防除時に混用する。

ネミ、害虫の予防に**バイオアクトTS 50～100 cc/10a**を5～7日ごとに灌水する。

軟弱徒長対策

暖かくなって軟弱徒長する前から、事前の管理で軟弱徒長や果実の軟化を抑える。

徒長抑制と軟化対策に**時を越えた贈り物 1,000倍**と**酸カル 2,000倍**と**サンミネーラ 5,000倍**を散布する。

灌水で**時を越えた贈り物 200 cc/10a**と**酸カル 100 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を液肥混用する。

発根促進

細根の働きを強化して、根の吸収力を高める。根の働きが悪い時は、葉面散布で養分を補給する。

細根の強化に**天地の恵み 0.5 L(発根力 1 L)/10a**と**Gバランス DF 1 kg/10a**を1ヶ月毎に灌水する。

展葉促進

着色を促進し、早く収穫することで、着果負担を軽減する。着果負担が軽減できれば、展葉が早くなる。

展葉促進に**笑顔 1,000倍(又は、天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を葉面散布する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 5～7 kg/10a

時を越えた贈り物(又は、天地の恵み) 100～200 cc/10a

サンミネーラ 50～100 cc/10a

バイオアクトTS 50～70 cc/10a

5～7日毎に灌注、散水する場合

※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シカアップ 100～200 cc、天然ミネラル 200～300 cc、海藻のエキス 50～100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)